



令和8年3月3日

文化財課

郷土資料館企画展 開催中
「大熊☆氏廣－応用編：近代日本がもとめた彫刻家－」

川口市域に生まれ、東京最初の銅像『大村益次郎像』を制作した近代彫刻の先駆者・大熊氏廣を特集する企画展を、昨年の入門編に引き続き、応用編を現在開催中。幕末から明治・大正・昭和前期を生きた氏廣の生涯を一挙に紹介しています。

- 1 日 時 2月21日（土）～5月10日（日）
- 2 場 所 川口市立文化財センター「郷土資料館」3階 展示室
- 3 内 容 郷土の偉人・大熊氏廣が各界の著名人と織り成した人間模様を紐解くことで、美術の視点から日本の近代史を振り返る展示です。



川口市立文化財センター「郷土資料館」企画展

大熊 氏廣

川口の偉人展 第三弾

— 応用編：近代日本がもとめた彫刻家 — (1856 - 1934)

令和 8年 2月 21日^土 ~ 5月 10日^日

■ 3階 展示室 ■ 9:30 ~ 16:30

区分	個人	団体
一般	100円	一人 80円
小・中学生	50円	一人 40円



大熊氏廣

OKUMA
UJIHIRO

— 応用編：近代日本がもつめた彫刻家 — (1856 - 1934)

令和8年2月21日^土 ~ 5月10日^日

現在の川口市八幡木の地に生まれた大熊氏廣は、近代日本を代表する各界の人々(皇族・有栖川宮熾仁親王、総理大臣・伊藤博文、三菱財閥・岩崎彌之助、教育者・福澤諭吉、建築家・片山東熊、鑄金家・鈴木長吉、洋画家・黒田清輝など)と交流しながら当代一流の彫刻家として活躍した人物です。

昨年度に開催した郷土の偉人展第三弾「大熊☆氏廣」の入門編に続く本展覧会は、当館が調査してきた成果を一挙に紹介することで、その生涯をたどる応用編です。彫刻史・美術史はもちろんのこと、近代史に興味のある方もお楽しみいただけます。

- ①「九段靖國神社前大村氏銅像之図」明治44年(1911)、当館蔵
- ②「大熊氏廣ポートレート」明治時代、当館寄託
- ③大熊氏廣他2名「御松下地二付奉願上候」明治7年(1874)、当館蔵
- ④大熊氏廣作「宮城前大観兵式レリーフ」明治36年(1903)、靖國神社遊就館蔵
- ⑤「参謀本部前有栖川宮熾仁親王繪葉書」20世紀前半、個人蔵
- ⑥大熊氏廣作「鎌倉権五郎矢抜き図絵馬」明治3年(1870)、当館蔵



関連イベント

郷土資料館歴史講座 「大熊氏廣 —近代日本最初の彫刻家」

近代彫刻の先駆けとして活躍した郷土の偉人・大熊氏廣について、日本近代彫刻史の第一人者を講師にお招きし、その功績を詳しく学びます。

日時 令和8年2月23日(月・祝)
午後1時30分~3時00分
※午後1時00分受付開始

会場 郷土資料館
(鳩ヶ谷本町2-1-22)

講師 日本大学芸術学部教授
田中修二氏

定員 40名

参加費 当館入場料のみ

申込方法 1月17日(土)午前9時30分より
当館窓口または電話(先着順)

川口市立文化財センター

郷土資料館

主催：川口市教育委員会
協力：埼玉高速鉄道

〒334-0002 川口市鳩ヶ谷本町2-1-22

Tel 048-283-3552

休館日：月曜日(月曜日が祝日の場合、翌平日)

区分	個人	団体
一般	100円	一人 80円
小・中学生	50円	一人 40円

詳細は公式HPまたはSNSへ



HP



SNS

<https://www.kawaguchi-bunkazai.jp/>

アクセス

- ①埼玉高速鉄道(SR) 鳩ヶ谷駅から徒歩10分
- ②JR 京浜東北線 赤羽駅東口・西川口駅東口から
国際興業バス「川口医療センター」[鳩ヶ谷公園住宅]行き乗車
「鳩ヶ谷本町1丁目」バス停下車1分

図録刊行

企画展の内容を
まとめた冊子

限定 1,000部
(有償)

